

学生花嫁着付けの部 (美容学校生対象)

競技要綱

(1) 競技種目

ボディでの和装花嫁打掛姿
基本的な花嫁着付け技術を基準とする。

(2) 競技時間

補正から長襦袢の着付けまで …… 20分(監視員立会いの下、競技会場にて行う)
掛下の着付けからポーズ付けまで …… 25分(ステージにて行う)

(3) 競技時間と競技方法

競技は監視員の指示の下、事前競技として体型補正・長襦袢の着付けまでを20分間でを行い、次に掛下から打掛までの着付けと、正面立ち姿のポーズ付けまでを25分間で行う。

*ポーズ付けは別図を参照

(4) 競技規定細目等 ※違反者は、減点若しくは失格となります

《 競技規定細目 》

1. 掛下・打掛の衿綴じは可。
2. 帯の縫止めは「ての先」・「ての元」ひと針ずつの2ヶ所のみ可。
3. 前もって帯に形付けをしたり、帯や着物に印を書いたり糸印を付けておくことは禁止。
4. 大会本部から貸し出す衣裳・小物以外の使用は禁止。
(金具付き紐の使用は自由)
5. クリップの使用は衿止め・袖止め合わせて7本以内とする。
6. ステージ上で衣裳・小物等を衣裳箱の外に出すのは、競技開始後とする。
7. 大会本部から貸し出す衣裳・小物以外の使用は禁止。
(金具付き紐の使用は自由)
8. クリップの使用は衿止め・袖止め合わせて7本以内とする。
9. ステージ上で衣裳・小物等を衣裳箱の外に出すのは、競技開始後とする。
10. 首振り枕使用の場合は、控室での競技時間20分間の中で準備する。
11. 掛下帯の準備にクリップを使用する時は、「ての先」・「ての元」のみ可。
12. 帯の幅出しを整え、屏風にたたんで準備しておいてよいが、文庫の羽根の部分は帯幅を開いて平らに整え、いずれも強い折り癖がついていないこととする。
13. 掛下文庫の左右の羽根を合わせた時(打掛を羽織る前)、両羽根をクリップで止めることは可。
14. 著しく完成された補正用品の使用は禁止。
 - 通常営業で使用する大きさの補正パッドを、その場で重ねてボディ修正していく。
 - 補正パッドを事前に重ね、縫い合わせてあるものは認めない。
 - キャミソール、胸巻きの使用は可。
但し、キャミソールには綿花等を挟んだり、縫い付けていないこと。
 - 胸巻きの巻いた終わりを補正バンド(包帯止め型)で止めることは可。
 - ウエスト及びヒップの補正は分厚く作られたものは認めない。
 - ウエスト及びヒップの補正に単純な紐やテープを縫い付けることは可。
 - ウエストの補正とヒップの補正を一緒に作られたものは禁止。
 - ヒップの補正の仕上げに布一枚を巻くことは可。
但し、布には綿花等を縫い付けていないこと。
 - ヒップの仕上げの布を巻いた終わりを補正バンド(包帯止め型)で止めることは可。
 - 体型補正のためのタオル・綿花の使用は事前に形付けられていなければ可。
15. 打掛ベルト・袖止めの使用は可。
16. ポーズ付けの際、掛下の前の裾を整える為にクリップを使用することは禁止。

《 選手の服装・使用する衣裳等 》

1. 選手の服装は白の上衣(襟付き)、黒のパンツに黒のソックス
(またはパンプスインソックス)を着用。
靴は脱ぎ履きしやすいものに限る。
(ピンヒール・サンダル・ブーツ・スニーカーは禁止)
競技中はマスク、フェイスシールド、手袋着用のこと。

※ 貴重品の紛失・盗難につきましては、主催者側では責任を負いかねますので各自充分にご注意下さい。

- (5) 審査事項 大会運営規則に基づき委嘱された審査員が、同規則に定められた「職務要綱」に基づき、審査業務を行う。
- (6) 監視事項 大会運営規則に基づき委嘱された監視員が、同規則に定められた「職務要綱」に基づき、監視業務を行う。
- (7) 採点精算 大会運営規則に定められた「職務要綱」に記載する。
- (8) 順位決定 順位の決定は審査員の採点の合計点に基づき、実施する。
- (9) 表彰 入賞者の数については、出場選手の数に応じて大会実行委員長が決定する。
- (10) コロナ感染防止についての注意事項 別紙参照

2. ボディは競技会場に設置されたものを使用
3. 下着類・着付け小物は各自持参のこと。
4. 衣裳は主催者側が用意し、出場者に貸し出します。申込締切後、衣裳の希望を取り(カラーコピー送付)、希望が重複した場合には大会実行委員会が厳正な抽選を行い、決定した衣裳は送料着払いで大会前に出場者宛に発送します。
※貸し出し物は芸術祭当日、大会終了後控室にて返却すること。
※貸し出し物の破損・紛失があった場合は、その程度により後日、弁償・請求させていただきます。

貸し出し物

打掛、掛下、掛下帯、長襦袢(背紐付き)、水仙衿、半衿、6点セット
(帯止め・帯あげ・抱え帯・懐剣・懐紙入れ・未広)、打掛ベルト、伊達巻2本、衿止め4本、袖止め3本、金具付き紐2組(長襦袢用・掛下用)、帯板(前板・後板)、おからげ用紐2本、衣裳敷
※ おしゃれ帯板・衿飾り・刺繍半衿等の使用は禁止。
※ 競技で使用する衣裳箱は当日貸し出します。

各自持参物

肌着、着付け小物(紐類・帯枕・補正用品等)他必要品一式

《 当日の行動及び禁止事項等 》

1. 当日の行動は監視員及び誘導員の指示に従うこと。
2. 競技中、選手同士又は観客と会話等をしてはならない。
3. 競技中、選手とモデルは必要以上の会話等をしてはならない。
4. 用具等の忘れ物があっても大会本部からの貸し出しは一切しない。
5. 他の選手に迷惑をかける言動をしたり、監視員の指示に従わない場合は、退場を命じることがある。
6. 競技終了後、選手は作品に一切手を触れてはならない。
7. 審査終了まで手直しすることは一切認めない。
8. 競技終了後、選手は衣裳箱を持ち、一旦ステージから退場する。
10. 助手の使用は一切認めない。
11. 大会当日、控室は選手以外は一切入室禁止。
(衣裳の搬出入も選手のみで行う)
12. 選手は結果発表まで控室で待機すること。
13. 結果発表には指示された場所に移動。
14. 入賞者は撮影のため写場に移動する。
(ポーズ付けは担当講師)
15. 表彰式の際は、指示された場所に速やかに移動すること。